

副産物の蚕のサナギを活用した新事業 「シルクすっぽん養殖」の新商品4月より販売開始

～繭だけでなくサナギも主役に～

市の特産品であるシルクを使った化粧品の製造販売を行う株式会社絹工房(所在地:群馬県富岡市、代表取締役丸山 竜也)は、養蚕で排出される副産物のサナギを活用したすっぽん養殖事業を行い、令和4年4月より県内への観光客を対象にすっぽんを使った食品(スープ)の販売を開始する。販売に先立って令和4年4月20日(水)11時より日本絹の里(群馬県高崎市金古町888-1)内ミュージアムショップにて試飲会を開催予定

■背景

株式会社絹工房では自社の原料生産のため平成26年より養蚕に携わってきたが、企業で行う養蚕のコストや就農期毎の人員問題などに直面してきた。そこで養蚕で作られる繭(絹)だけでなく副産物として排出されるサナギの活用方法について検討し、その一環として令和1年より蚕のサナギを使ったすっぽんの養殖(「シルクすっぽんTM商願2020-022789」養殖)を始め、今回その製品化に至った。

■展開内容

(1) 蚕のサナギと養殖

これまで蚕のサナギはすっぽんや鰻や鯉など様々な養殖に利用されてきたが、繭の保存のため繭を乾燥すると同時に生糸を採るために煮繭されるため、出洩らしのようなったサナギは廃棄物の処理とされその価値は低かった。

弊社では繭を切り、中から蚕のサナギを生きた状態で取り出し生の状態で冷凍保存しているためサナギの栄養が損なわれず、生のサナギを配合した餌と配合していない餌とでは摂取量に倍近い差が出ている。(弊社実績より)

(2) 繭を切るタブーとその対策

繭は1本の長繊維であるため、製糸を行う上では繭を切ることはタブーとされている。そこで弊社では切繭の加工方法として国内唯一の絹紡糸メーカーへ協力を仰ぎ、絹紡糸への加工を行っている。生繭を切ってサナギを取り出した繭を使った絹紡糸は白く弾力性があり、従来の絹紡糸とはまったく異なる品質の糸となっており、その品質は海外の一流ブランドメーカーにも採用されるほどである。

(3) 新たな製品の創出

今回このシルクすっぽんの養殖事業は令和2年度群馬県6次産業化チャレンジ支援事業や令和3年ぐんまDX技術革新補助金の認定事業となっており、地場で育てた繭(サナギ)を使って地場ですっぽんを養殖することで完全な地場産品を創出し、新たな食のブランド「シルクすっぽんTM」として成長させていきたいと考えている。

(4)日本の養蚕継続のために

現在高齢化と新規就農者不足により国内の養蚕農家は減少の一途を辿っており、今回の事業により蚕のサナギの活用価値を高め、サナギもまた主な生産物にすることで、養蚕を収益性の高い事業にできるような仕組み作りを提案していきたいと考える。

■今後の展開

今回の新商品のスープは世界遺産富岡製糸場と縁のあるフランスの料理の技法であるブイヨンドレギュームを使った野菜ベースのスープにすっぽんエキスを加えたフレンチ風スープ。1人前 750円(税込)で令和4年4月より富岡製糸場前の自社店舗と日本絹の里(群馬県高崎市金古町888-1)のミュージアムショップ(絹工房運営)にて販売予定。年間15,000食を目標に販売を行う。さらに5月からは商品化第2弾として美容サプリメントのすっぽんエキスを販売予定。

■会社概要

商号 : 株式会社絹工房
代表者 : 代表取締役 丸山 竜也
所在地 : 〒370-2316 群馬県富岡市富岡 1152 番地
設立 : 2005年10月
事業内容 : 化粧品製造販売業
資本金 : 600,000円
URL : <https://www.kinukoubou.com>

【本件に関するお客様からのお問い合わせ先】

株式会社絹工房 お客様相談窓口

TEL : 0120-469-709

お問い合わせフォーム : <https://www.kinukoubou.com/cgi-bin/form/index.php>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社絹工房

担当 : 丸山・米満

TEL : 0274-67-5023

FAX : 0274-67-7251

MAIL : info@kinukoubou.com